

# Case Study

支部ケース・スタディ

北海道支部

## DXによる地域貢献

### (株)ジェイコム札幌

お客さまサービス推進部 **菅野 正弘**  
地域プロデューサー **雨尾 俊英**  
J:COMプロダクション **中島 隆**

J:COM 札幌は、1983年に「株式会社札幌ケーブルネットワーク」として発足、1988年に札幌市内でCATVサービスを提供開始して以来、地域に根差したケーブルテレビ会社として事業を展開してまいりました。2023年1月4日には、主に手稲区へサービスエリアを拡大し、札幌市内全域の約888,000世帯(札幌市総世帯数の約9割)の皆さまへ、J:COMサービスをお届けできるようになりました。

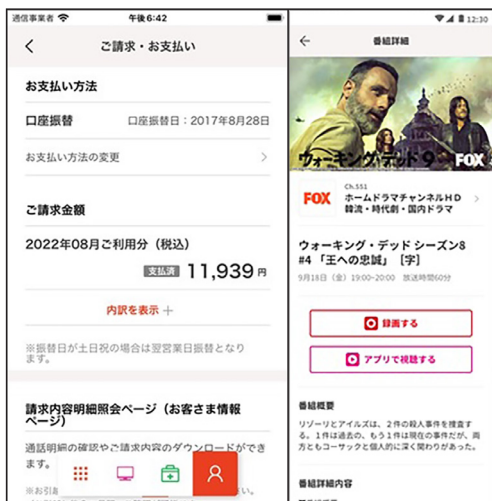
今回は、地域とともに歩み続けてきた当社の「DXによる地域貢献」をテーマに、『DXを活用した「MY J:COM」アプリでCXを強く推進!!』『札幌市における町内会活動の啓発広報』、そして『地域民放との連携～「情報カメラ」の相互利用を開始』の3つの取り組みをご紹介します。

### DXを活用した「MY J:COM」アプリでCXを強く推進!!

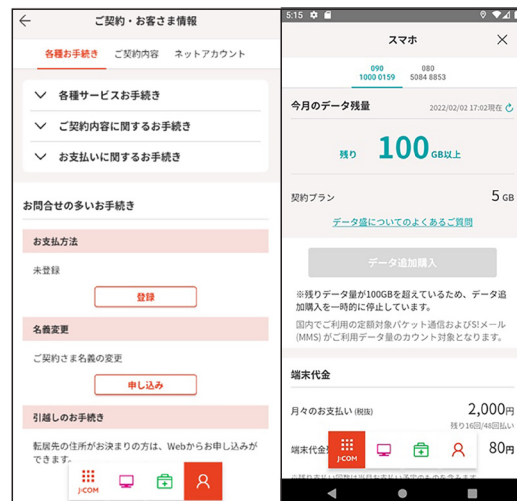
「MY J:COM」アプリは、サービスに関わる様々な情報を、いつでもどこでも簡単、便利に、スマホ等のモバイルデバイスで見ることができるアプリです。

例えば月額料金や加入の状況、お客さまにあったコンテンツをカスタマイズして、番組を訴求!! 録画予約もアプリから!! スマホでの視聴も簡単!! (画面①)

お手続きもアプリで簡単に変更!! モバイルの残りデータ量もすぐにチェック!! (画面②)



画面①



画面②

「MY J:COM」アプリでは、家族ひとり一人がIDを作成することができ、それぞれにあった趣味やお好みの番組をレコメンドしています。「DX」を使うことで、IDの管理を世帯から個人へ変化させていき、お客さまの細かいニーズにあったサービスを提供することで、CX推進に繋がっています。

## 札幌市における町内会活動の啓発広報

札幌市では、各種広告媒体や直接的な働きかけにより、町内会活動の啓発広報を継続的に実施していますが、地域活動の担い手不足や参加者の減少は、引き続きの大きな課題となっています。

また、令和5年4月に「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」が施行されることが決まり、町内会の必要性を札幌市民により一層周知していかなければなりません。

そこで当社では、これまでの取り組みや課題を踏まえて、札幌市からの委託を受け、コミュニティ・チャンネルによる情報発信等に留まることなく、これからの町内会活動を担う若い世代を対象に、デジタルツールを活用した「DX」による広報活動を積極的に行っております。また、今後はさらに「DX」による利便性、効率化をめざして「回覧板」等にかわる「町内会ポータルサイト」の運用実現に向けて準備を進めて参ります。

### 【従来の広報活動例】

ポスターやリーフレットの製作、新聞広告、公共交通機関広告、TV・ラジオ広告、市内各所における広報イベント実施 等



A4判3ツ折り「リーフレット」の中間



特別番組放送の一場面

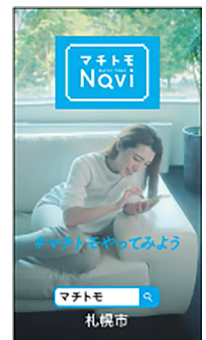


広報イベントの様子

### 【新たな広報活動例】

face to faceの接点を創出する従前の広報活動に加えて、スマホによる視聴を意識したSNS(Instagram・facebook)広告、YouTube広告向けの「タテ型CM」を制作等

※何れも「札幌市在住20～40代の男女」等のターゲット選定



タテ型CMの一場面

### 【今後の予定～町内会ポータルサイトの運用】

インターネット・サービスやWi-Fi環境の整備に留まらず、地域DX推進や町内会の情報活性化支援のためのコミュニケーション・ツールとして、「町内会ポータルサイト」を準備中。

※「町内会ポータルサイト」の主な機能：お知らせ・回覧板・アンケート・資料閲覧・施設予約・スケジュール・お役立ち情報・ご意見ご要望 等



## 地域民放との連携～「情報カメラ」の相互利用を開始

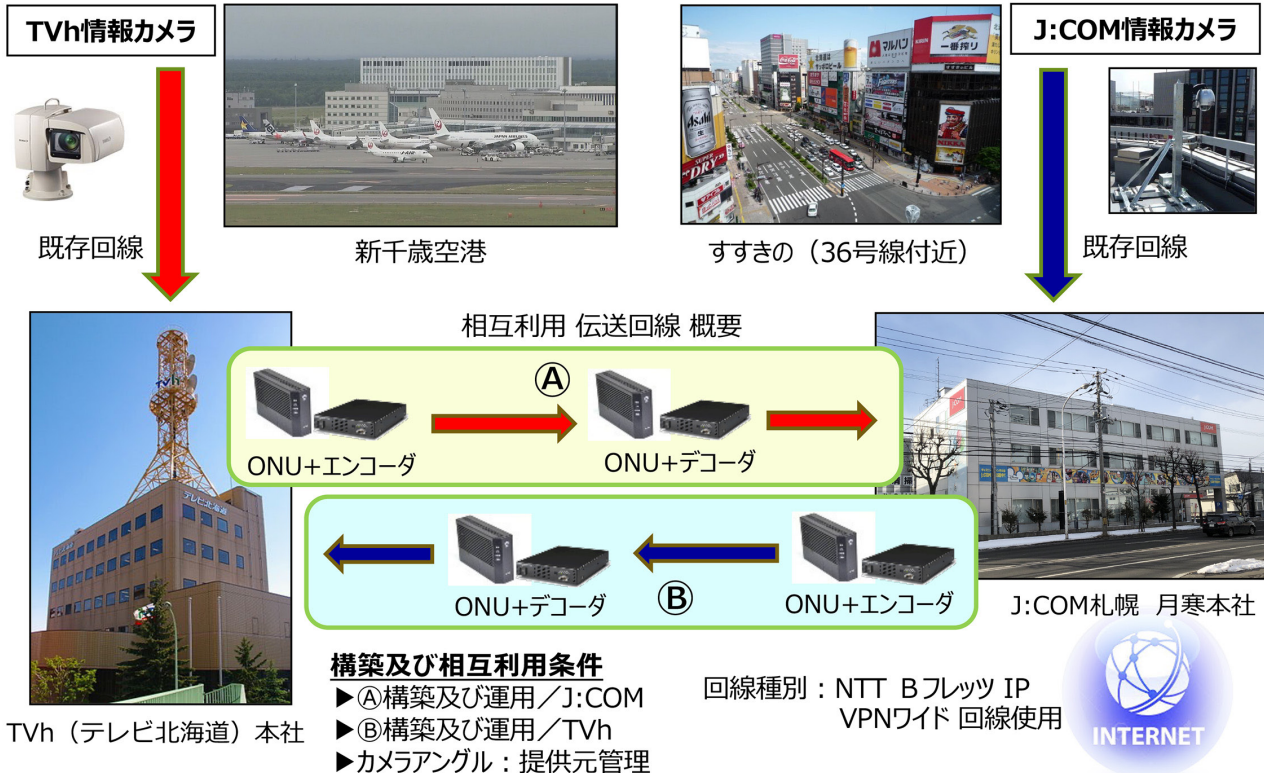
2021年4月、当社はテレビ北海道(以下、TVh)と「情報カメラの相互利用」に関する契約を締結しました。これは、お互いが所有する「情報カメラ」の映像を伝送しあい、番組内で活用していくことを目的としたものです。この締結のもと、当社が所有する「すすきの交差点」の映像をTVhへ伝送。TVhからは「新千歳空港」のライブ映像を、光回線を通じて受信しています。荒天時には、これらの映像を活用しながら、交通障害に関する情報などを発信しています(写真)。シンプルで安定したデジタル技



番組での活用事例

術により、新たな情報カメラを設置するにあたって本来必要な、手続きなどにかかる時間やコストを削減できるのも大きなメリットです。ケーブルテレビと地域民放の連携による「DX」を活用した新たな取り組み事例として期待されています。

## &lt;回線構築 概念図&gt;

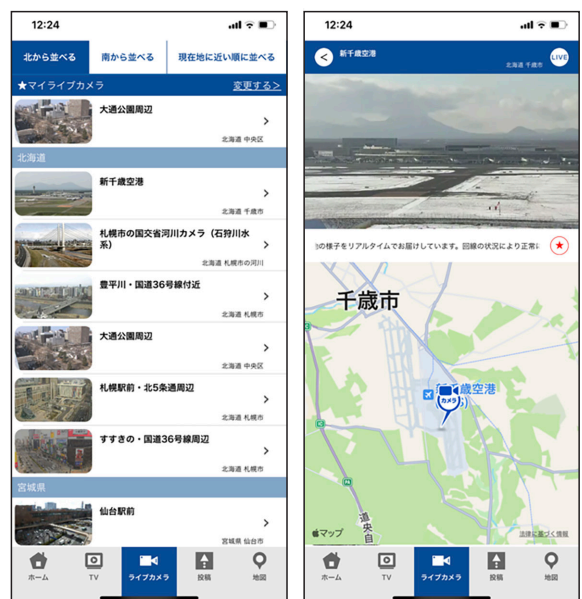


## ■「DX」でさらに便利に！専用アプリでいつでも見られる

さらに、2021年9月からは、当社の地域情報アプリ「ど・ろーかる」をダウンロードすれば、スマホやタブレットでいつでも新千歳空港のライブ映像が見られるようになりました。当社では「DX」を活用した様々な取り組みを通じて、より身近な地域の生活・防災情報を皆さまにお届けし、安心・安全なまちづくりに貢献していきます。



「ど・ろーかる」アプリのアイコン



「ど・ろーかる」ライブカメラ画面